

柏木小学校

令和2年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○授業改善と家庭学習の充実に向けた取組を両輪で進めることにより、学ぶ力を高め、確かな学力を育む。

【学校 目標】

○「読み解く力」の育成に重点を置き、「こうか授業術5箇条」を柱とした授業改善を行うことで、学習集団を高め、確かな学力を育む。

【現状と課題】

- 視点1 「こうか授業術5箇条」に沿った学習スタイルが定着しつつあるが、より子ども主体の課題解決学習を行い、確かな学力の育成と、授業とつながる家庭学習の習慣化を図る。
- 視点2 学習集団としての子ども同士のつながりが弱いので、「他者とのやりとりから読み解き理解する力」を育成し、子ども同士が学び合える学習集団をつくる。
- 視点3 教職員個々の研修意欲は高いが、それをつなげ強める研修の組織とシステムを見直し、OJTを推進する。

取組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <p>○「こうか授業術5箇条」に沿った授業による、確かな学力の育成と家庭学習の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で統一すべき学習のきまりを見直し、年度がかわっても積み上がる全校体制の授業規律を確立する。 ・「こうか授業術5箇条」の学習スタイルで課題解決学習を行い、子ども主体の学びを積み上げる。 ・授業と家庭学習(予習と復習)の往還をめざし、家庭と連携しながら、学習習慣を育てる。 	<p>【取組事項】</p> <p>○「読み解く力」を育成し、子ども同士が学び合える学習集団の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読み解く力」のB:他者とのやりとりから理解する力を意識した学習活動で、子ども同士の学び合いを推進する。 ・教職員によるボイスシャワーや「仲間づくりタイム」の実践で、個々の良さを強化し、学級の支持的風土を醸成する。 ・QU調査や振り返りアンケートから課題を把握し、具体的方策を講じる。 	<p>【取組事項】</p> <p>○研修の組織とシステムの構築とOJTの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修OJT部会を立ち上げ、計画的なOJTと日常的なOJTの両輪で研修を深める。 ・研究推進委員会と2部会(学び部会、仲間・体づくり部会)を核に、課題や取組を共有し、組織で対応する。 ・校外研修で学んだことを伝え合う相互研修の機会をもち、互いに高め合う。

その他 取組事項

○日本語指導を必要とする児童等に対する支援を行う。

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
全体				
視点1	「こうか授業術5箇条」に沿った授業による、確かな学力の育成と家庭学習の習慣化	【児童 振り返りアンケート】 「学校の勉強はよくわかる」肯定的な回答85%以上 「家庭学習に一生懸命取り組んでいる」肯定的な回答75%以上		
視点2	「読み解く力」を育成し、子ども同士が学び合える学習集団の向上	【児童 振り返りアンケート】 「柏木小学校の生活は楽しい」肯定的な回答90%以上 「自分の考えを人の前でしっかりと話している」肯定的な回答75%以上		
視点3	研修の組織とシステムの構築とOJTの推進	【保護者 教育活動アンケート】 「学校は子どもたちが基礎学力を身に付けるための取組を進めている」肯定的な回答90%以上 【教職員 学校教育評価】 教師力を高める教職員研修 肯定的な回答75%以上		
その他	日本語指導を必要とする児童に対する支援	【該当児童のアンケート】 満足度90%以上		

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--